

(6月11日) : 2営業日ぶりの下落

サイゴンビールアルコール飲料総公社 (SAB)、ビンホームズ (VHM) などの一部の大型株への売り圧力が高まり、VN 指数は 6 月 11 日に下落して取引を終えることになった。

ホーチミン取引所では 140 銘柄が上昇したのに対し、157 銘柄が下落した。VN 指数は 0.83 ポイント (0.09%) 安の 962.07 ポイントで取引を終えた。出来高は 12% 下落し、1 億 3638 万株となり、売買代金も 17% 下落し 3.17 兆ドンであった。

相対取引では 4060 万株 (9780 億ドン) が取り引きされた。タインタインコン・タイニン製糖 (SBT) は 500 万株 (880 億ドン)、ビンコムリテール (VRE) は 440 万株 (1557 億ドン) ほどが取り引きされた。

強い売り圧力が多くの銘柄に押し掛かり、VN 指数を引き下げることになった。ビナムルク (VNM) は 1.1% 下落し 125,000 ドン、サイゴンビールアルコール飲料総公社 (SAB) は前場は上昇していたが 2.1% 安で取引を終えた。ペトロベトナムパワー (POW) も 1.6% ほど下落した。

上昇した銘柄は、ペトロベトナムガス (GAS)、モバイルワールドインベストメント (MWG)、ベトコムバンク (VCB)、VP バンク (VPB)、軍隊商業銀行 (MBB)、ホアファットグループ (HPG)、フーニユアンジュエリー (PNJ) などで、同銘柄が指数を押し上げた。

主要銘柄の取引も活発ではなかった。HPG の出来高は 440 万株だったが、VPB、MBB、FPT、VRE などは 100 万株ほどの出来高であった。

FLC ファロス建設 (ROS) は出来高トップで 850 万株が取引された。また、ホアンクアン不動産商業コンサルティング (HQC) は 480 万株が取引された。

TPB は 4.7% 上昇し 25,500 ドンで取引を終えた。出来高は 120 万株で、直近 1 か月の高値に接近した。

HNX 指数は 0.04 ポイント (0.04%) 下落し 103.95 ポイントで取引を終えた。出来高は 2400 万株で、売買代金は 2540 億ドンであった。それぞれ 48%、20% 増加した。

大型株の中では、ビコストーン（VCS）は 1.8%高、ラムタオ化学肥料（LAM）も 1.3%ほど上昇した。

サイゴンハノイ銀行（SHB）は出来高トップで 216 万株が取引され、ペトロベトナムサービス（PVS）、ペトロベトナム建設（PVX）、フータイン縫製（MPT）などの出来高は 100 万株以上で、ハノイ市場の出来高上位銘柄であった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。